

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 20日

静岡県知事 殿

提出者

住所 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号

東京電力パワーグリッド株式会社

氏名 代表取締役社長 金子 禎則

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6373-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東京電力パワーグリッド株式会社 調達室 ロジスティクス戦略G 三島長伏電柱置場
事業場の所在地	静岡県三島市長伏235-1
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

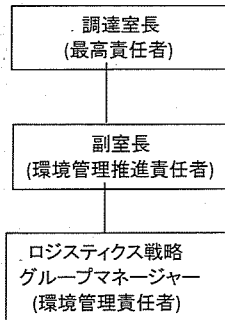
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：電気・ガス・熱供給・水道業 中分類：電気業 小分類：電気業
② 事業の規模	資本金の額または出資の総額 80,000百万円
③ 従業員数	20,356人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>○発生フロー (コンクリート電柱)</p> <pre> graph LR A[電柱撤去工事] --> B[電柱置場搬入] B --> C[検査 良否判定] C -- 良品 --> D[再使用] C -- 不良 --> E[産廃処理] </pre> <p>○処理フロー (非飛散性アスベスト含有製品不使用の不良電柱)</p> <pre> graph LR A[産業廃棄物発生 不良コンクリート電柱] --> B[収集・運搬 処分場へ運搬] B --> C[中間処理 破碎・分離] C --> D[コンクリート片：路盤材 鉄筋：鉄鋼原料] D --> E[(再資源化リサイクル)] </pre> <p>○処理フロー (非飛散性アスベスト含有製品使用の不良電柱)</p> <pre> graph LR A[産業廃棄物発生 不良コンクリート電柱] --> B[収集・運搬 処分場へ運搬] B --> C[中間処理 破碎・分離] C --> D[コンクリート片：路盤材 鉄筋：鉄鋼原料] D --> E[(再資源化リサイクル)] C --> F[アスベスト含有 部品取外し] F --> G[埋立て] </pre>

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	—
	排出量	1065.71 t	—
	(これまでに実施した取組) 撤去品のうち、機能不良で無いものは再利用するものとし、良品率を管理し向上に努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	—
	排出量	1040.0 t	—
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を継続して実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 電柱置場の中に不良コンクリート柱専用置場を区画し、他の物品が混入しないように管理する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取組を継続して実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート柱)	—
	全処理委託量	1065.71 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	1065.71 t	—
	再生利用業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	—	—
	(これまでに実施した取組) 当社電柱置場から発生する産業廃棄物は、搬入された撤去電柱を社内基準により良否判定検査を行い、機能に不良の無いコンクリート柱は再利用をはかる仕組みが確立されている。選別された不良コンクリート柱の素材は、コンクリートと鉄筋で構成されており、破碎・分離することにより容易に再資源化出来るため、100%の再資源化を実施している。		

②計画	【(令和6年度)目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート柱)	—
	全処理委託量	1040.0 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	1040.0 t	—
	再生利用業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を継続して実施する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。